

# アルミ2段柱4型

## 取付説明書 — ハイスクリーンフェンス —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味



**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号



**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

### <施工の前に>



**警告**

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。



**注意**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

### <施工上のご注意>



**注意**

- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因になります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は200mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。

## <基礎工事について>

### ⚠ 注意

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守ってください。

## ■ 梱包明細表

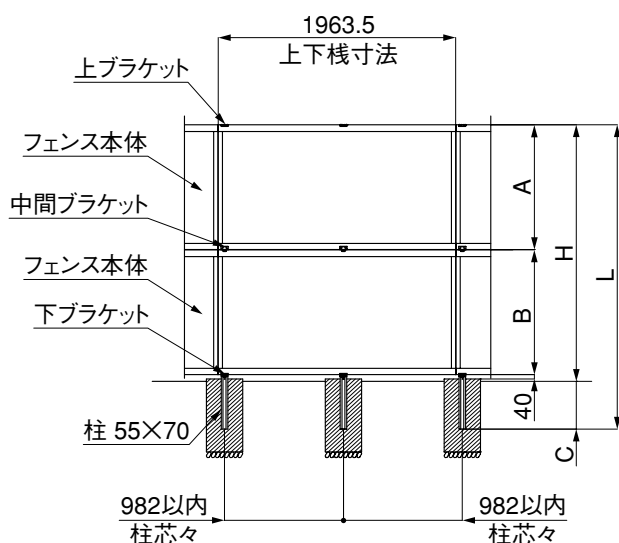
①2段柱4型セット

名称	略図	員数
2段柱 T-24		1
2段柱 T-26		1
2段柱 T-28		1
2段柱 T-30		1

②2段柱部品セット

名称	略図	員数
上ブラケット		1
中間ブラケット		1
下ブラケット		1
すきま隠し材		2
②-① φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		2
②-② φ4×6トラスタッピンネジ3種 D=8		2
②-③ φ5×10トラスタッピンネジ3種 D=8		2
取付説明書 (C306)	—	1

## 1. 基本寸法図



### ⚠ 注意

- 柱はブロックに施工しないでください。高尺により強い風圧を受け飛散事故の原因になります。
- 基礎が沈降したり傾いたりするのを防止するために必ず割栗石を敷いてください。

呼称	H	L	A	B	C
T-24	2283.5	2733.5	1120	1120	450
T-26	2483.5	3083.5	1320	1120	600
T-28	2683.5	3283.5	1320	1320	600
T-30	2883.5	3483.5	1520	1320	600

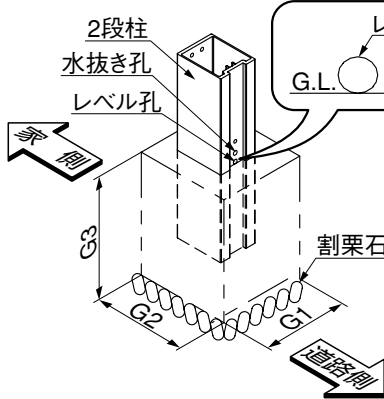


図1-1 独立基礎の場合

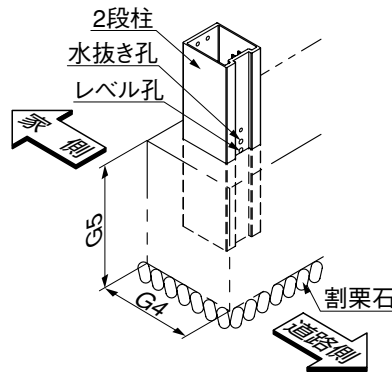


図1-2 連続基礎の場合

**注意**

● 柱埋込み時にはレベル孔、水抜き孔をふさがないように施工してください。ふさいでしまうと柱の腐食や溜まった水が凍結して破裂するおそれがあります。

呼称	G1	G2	G3	G4	G5
T-24	500	500	600	300	450
T-26	600	600	800	300	600
T-28	600	600	800	300	600
T-30	600	600	800	300	600

## 2. フェンス本体・柱の取付け

※すきま隠し材は上段フェンスを設置する前に取付けてください。

### 2-1 下ブラケット・下段フェンス本体の取付け

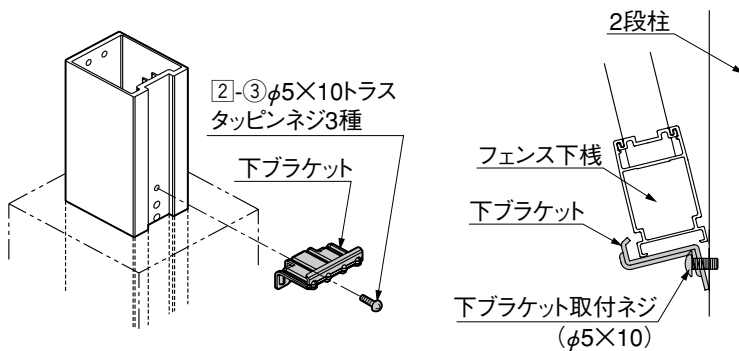


図2-1 下ブラケット取付け図

- ① 下ブラケットを②-③で仮固定してください。(図2-1参照)
- ② フェンス本体を下ブラケットにのせてください。
- ③ 下棧の溝に下ブラケットの先端がはまっていることを確認し、下棧を②-③でしっかりと固定してください。

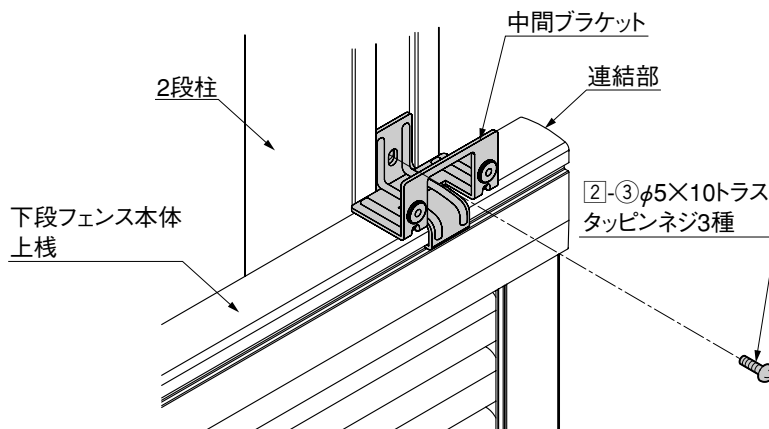


図2-2 中間ブラケット取付け図

- ④ 下段フェンス本体上棧に中間ブラケットを設置し、②-③で2段柱に固定してください。(図2-2参照)

**注意**

● フェンスの連結部にブラケットを取付けしないでください。耐風圧強度が大幅に低下します。

## 2. つづき

### 2-2 すきま隠し材の取付け

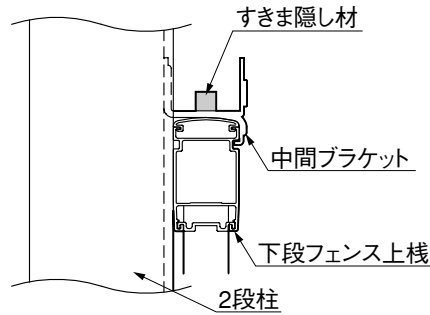


図2-3 側面図

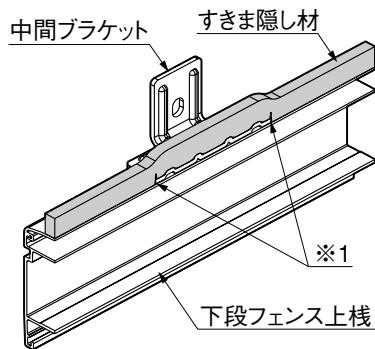


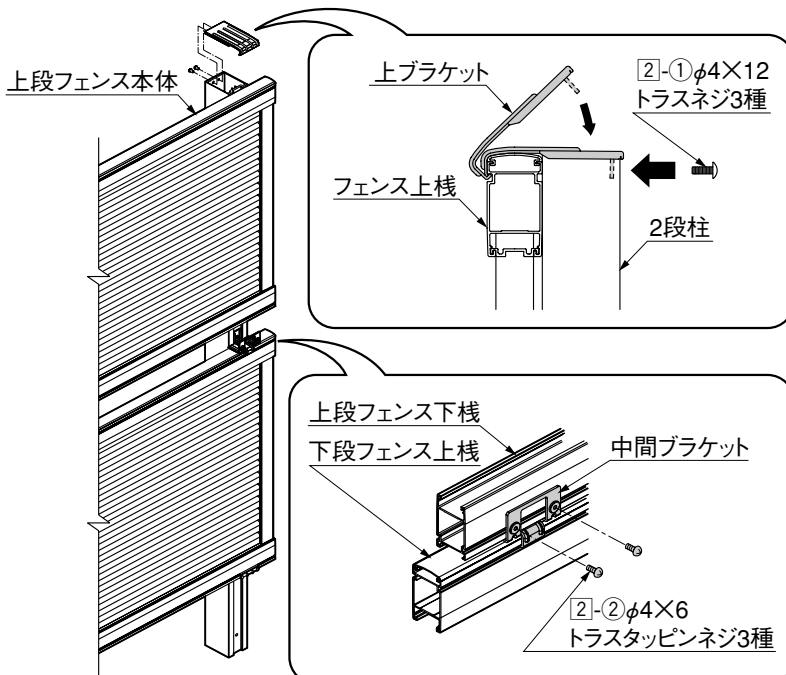
図2-4 断面図

- ① 下段フェンス上棧の上部にすきま隠し材を貼付けてください。(図2-3参照)

#### ポイント

- 中間ブラケット段差部分に深さ5mmほどの切込みを入れておくと、段差のすきまを隠すことができます。(図2-4参照)

### 2-3 上段フェンス本体の取付け



- ① 上段フェンスを中間ブラケットにのせてください。
- ② 上ブラケットを2-①で取付けて固定してください。
- ③ 中間ブラケットの2ヶ所の孔に2-②を取付けてください。

#### ポイント

- 中間ブラケットには必ず2-②を取付けてください。これを取付けないと耐風圧強度が大幅に低下します。

取説コード

**C306**

200308A\_1006